

研究課題名「肺高血圧症における血管新生因子 VEGF-A, VEGF-A165b の役割に関する後ろ向き観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年8月1日から2018年3月31日の間に右心カテーテル検査により肺高血圧症と診断された方

2. 研究目的・方法

本研究趣旨は「肺高血圧症と血管新生との関連」を評価することです。血管新生とは体内で血管を新たに作ることを指します。重症な肺高血圧症の方の肺動脈には叢状病変(plexiform lesion)という血管の塊のような組織が見られます。血管新生因子と肺高血圧症は何らかの関連があることが分かりますが、その役割は明確にはなっていません。本研究では、血管新生因子の中の1つである血管内皮細胞増殖因子(VEGF; vascular endothelial growth factor)と肺高血圧症との関連を評価します。VEGFの中でも主要な役割を担うVEGF-Aと、それに対し拮抗的な作用をするVEGF-A165bの関係と肺高血圧症の予後を明らかにすることを目的としています。

既存の資料を用い、VEGF-A165bとVEGF-Aおよびその比を算出します。エンドポイントで定義された予後との関係を評価します。また、名古屋大学病院の外来及び入院加療中の患者で肺高血圧を有さず、骨髄増殖性疾患、感染症、がんを持たない患者をコントロール群とし、加えて、肺高血圧症の背景疾患毎に層別解析を行い、背景疾患における違いを明確にします。加えて血行動態、運動耐容能、血管内皮機能、呼吸機能などの関連を評価します。

研究期間は実施承認日から2021年3月31日までになります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、カルテ番号、病歴、心エコー検査結果、右心カテーテル検査結果、心肺運動負荷試験検査結果等

試料：血液等

4. 外部への資料・情報の提供

なし

5. 研究組織

1) 研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科 肺高血圧先端医療学寄附講座
教授 近藤隆久

2) 研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学
教授 室原豊明
病院助教 足立史郎
学外研究生 下方茂毅
大学院生 今井遼
医員 吉田雅博
名古屋大学大学院医学系研究科 肺高血圧先端医療学寄附講座
助教 中野嘉久
名古屋大学医学部附属病院
臨床検査技師 菊地良介

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

連絡先 :

担当者 足立史郎/ 中野嘉久
住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞 65
直通電話番号 052-744-2138 (内線 5093)
FAX 番号 052-744-2138
e-mail: sadachi@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者 :

名古屋大学大学院医学系研究科 肺高血圧先端医療学寄附講座 近藤 隆久